

# 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 26日

事業所名 第2放課後等デイサービスみふね

保護者等数(児童数) 40(44) 回収数 36 割合 90.0%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	4			・厚生労働省の指定基準通りに確保しています。 ・療育活動の場や日常生活の場を分けて支援することができるスペースがあるため、子どもたちも場によって切り替えることができています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	5			・職員配置基準通りに配置しています。 ・職員は教員、臨床心理士、児童指導員を配置し、事業所内研修等を通して専門性を高めています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	33	3			・室内の段差は、玄関とシャワー室のみで、全てバリアフリー化が施されています。階段も手すりを設置しています。支援が必要な子どもには、職員が支援して階段昇降しています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	33	3			・小集団活動の中で個別の目標を保護者と職員間で話し合う中で共通理解し、支援計画に反映させています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	32	4			・年間計画を立てて、様々なプログラムを準備しています。さらに、利用児童の実態に合わせた課題活動を週ごとに内容を変えて取り組んでいます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	19	3		・老人施設などとの交流はありますが、他のお子様との交流はわかりません。 ・障害の無い子、きょうだいもイベントなどで参加できると嬉しいです。 ・学校で交流があるので特に必要性を感じていない。 ・土曜日や長期休み時に、地域の公園に出かけて、同じ空間にて遊んでいます。 ・法人の他事業所(あじさい園・南天園等)とも交流を図っています。 ・今後交流の場を広げていきたいと思っています。 ・児童クラブにしあいらとは月に1回、連携会議を行って、支援の共通理解を図っています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	1			・新規契約時や保護者説明会の時に、丁寧に説明します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	3			・送迎時や連絡帳でしっかりコミュニケーションを取っていただいているので満足です。 ・お迎えに来ていただいた時やモニタリングの時に、子どもの状況や課題、活動の内容や様子を丁寧に説明したり、必要に応じて適切な助言ができるようにします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	2			・子どもの様子等の説明があり、コミュニケーションをいただいています。 ・職員専門性を高め、保護者の相談に耳を傾け、必要な助言ができるようにします。 ・今後も関係機関と連携を図り、子どもの発達を支援します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27	7	1	1	・個人情報、顔をのせたくない方がいますので、LINEで個人に放デイの様子を写真などでお願いしたいです。 ・特に必要性を感じない。 ・保護者学習会を2回実施致しました。今後、テーマ設定や開催方法等工夫して、できる限り保護者の皆様の連携が図れるようにしていきますので、ご協力お願いいたします。 ・写真掲載時は保護者同意をもらい掲載する等配慮しています。 ・今後、療育参観日を設けて、その中で保護者交流ができるように取り組んでいきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	5			・苦情になるような事になった事がないので分からない。 ・そういったことが起きたことがない為分からないが、何かあった際はきちんと対応してもらえるだろうと安心しています。 ・保護者説明会等で、苦情受付機関の周知を図り、苦情に関しては誠意をもって対応します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	2			・連絡帳や電話で情報伝達をしてもらっています。 ・子どもや保護者との連携が図れるように、今後も必要に応じて様々な方法を工夫します。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35	1			・お便り等で子どもたちの様子を見れば、活動内容も分かるので安心です。 ・毎月のおたよりや活動表で活動計画の周知を図ったり、連絡帳で個別の体調の把握に努めたりしています。また、自己評価の結果は虹の家のホームページに掲載したり、玄関に掲示したりして公表しています。
	14 個人情報に十分注意しているか	33	3			・個人情報に関しては、今後も慎重に扱います。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33	3			・各マニュアルについては、保護者説明会で説明し、周知します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33	3			・月毎の活動表で教えていただいています。 ・月に1回避難訓練を実施し、おたより等で伝えます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	27	3			・指導員が変わり不安や戸惑いがある中、注意されることが多いからか本人は言わないが、前ほど行きたがらないです。 ・大好きなお友だちと会えるのは楽しみにしています。 ・子どもたちが安心して過ごせるように環境設定を行っています。 ・できた場面を認めて、子どもたちの自己肯定感を高めていけるように支援していきます。 ・子どもたちがみふねに通う理由を受け止めて、自分自身と向き合えるように支援しています。 ・今後も活動内容を工夫していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	27	3			・保護者からの評価やご意見を真摯に受け止め、今後も改善・工夫しながら、支援を進めてまいります。 ・保護者や各関係機関との連携を深め、療育の成果を相互に確認しながら進められるようにします。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。